

山を守り、環境を護る GPS 測量で効率的な山林管理を展開

吉野森林管理サービス

〒 639-3108

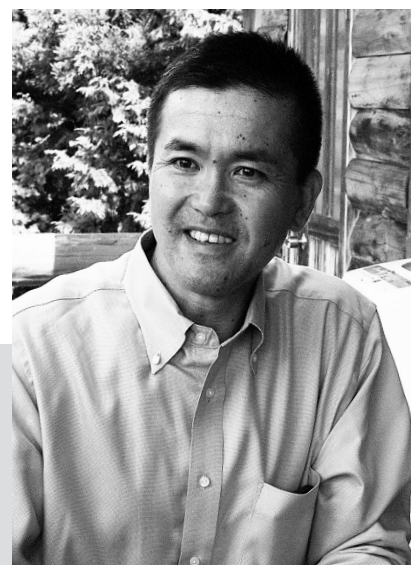
奈良県吉野郡吉野町三津 62

TEL 0744-46-4233 / FAX 0744-49-6670

URL <http://www.yoshino-jpn.org>

MAIL mail@yoshino-jpn.org

Company data



森林評価士 / 林業技士 / 測量士補

今西 秀光

奈良県出身。奈良高専で電気工学を専門に学んだ後、神戸市にある造船所でエンジニアとして6年勤める。そのなかで次第に山への思いが募り、生まれ故郷に戻って家業の林業を継ぐことを決意。山の保全管理のため、日々尽力している。

駒田 山林の管理を生業とされているそうですね。

今西 山主から立木を買い、それを伐採して原木市場で出荷する業務が主ですが、2000年頃から山の境界を探して測量し、地図へ起こす仕事も増えています。

駒田 なるほど、それで測量士補の資格をお持ちなのですね。しかし、山の測量というのは平地の測量とは違って線引きが難しいのではありませんか。

今西 そうなんです。先祖代々受け継がれた山でも、数年管理をしていないと境界が分からなくなってしまいます。「公図」という地図がありますが、これは昔の人々がめいめいに自己申告した境界が記されているだけなので、あまり当てになりません（笑）。ですから、お父さんの代までは山の境界がはっきりしていたのに、その息子さんの代で分からなくなるといことがよくあります。

駒田 境界線がきちんと継承されていないわけですね。

今西 はい。口伝えによって境界が伝えられていたことが原因です。特に近年は外国産の材木が流通して国産材木の価値が下がったことにより、育林だけでは暮らせない時代になりました。そうなると別に仕事を求めるようになり、忙しくてほったらかしになってしまう。しかし、

材木用の木は植林から60年以上経って価値が出るもの。きちんと管理していれば将来の資産になりますが、荒れ放題ではただの負債なのです。



駒田 では、御社ではどのようにして境界線を管理されているのですか。

今西 奈良県内で唯一、GPS測量を用いた境界線の管理をしています。これにより、測量の低価格化と再現性を実現しました。つまり、口伝えで曖昧だった境界線を座標値と地図で記録・保存するこ

とにより、第3者が現地確認できるようになったのです。

駒田 なるほど。では管理については？

今西 境界線を更新して山林の状況を見たり、間伐などの手入れをします。県外の三重県や和歌山県、遠くは兵庫県の山まで出かけることもありますよ。

駒田 では、遠方にお住まいの方が管理を任せると言うことも可能ですね。

今西 自分の山を田舎に所有しているのだけれども、行ったことも見たこともない、という方はたくさんいらっしゃいます。そうした方を広くサポートできるように、全国的な「山守」のネットワークを築きたいですね。そして、私にも息子がいますから、彼がいつか跡を継いでくれるように、魅力ある事業にしていきたいと思っています。

Guest Comment

駒田 徳広（野球評論家）

私は奈良県出身ですが、山林管理の仕事は初めて知りました。最近では山林の価値が低下し、所有者の興味が薄れつつあるなかで、相続後のことが心配な方や相続したものの山林の場所が不明な方には大変便利なサービスですね。興味のある方は相談してみたいかがでしょうか。

